

市民の安全・生活環境を守るため

再生エネルギー設備設置に規制を

井之川博幸議員が横山市長に求める

井之川博幸議員は、9月議会の一般質問で、「再生可能エネルギー設備」の設置によって環境の悪化や災害がおきている問題で、市民の安全などのために沼田市が条例を策定し、規制を強めるよう要求しました。特に5年前に、国が太陽光発電施設の建築基準法における適用から除外したことにより、敷地面積が3,000㎡未満は自由に設置できるようになっていることが問題の根源になっています。



住宅ウラの急斜面(屋根より高い位置・左上)に設置された太陽光発電施設(沼田市内)

昨年鬼怒川越水や仙台がけ崩れも



崩れた太陽光パネルが設置された斜面

昨年9月、台風18号による豪雨で常総市の一番上流で鬼怒川の激流が越水し、若宮戸地区が洪水におそわれたのは、2年前に自然堤防の上に太陽光発電施設を設置するため高さを2m削ったことが原因と被災住民が訴えています。

また、仙台市では豪雨により、斜面に設置された太陽光パネルが下の道路まで崩れ落ちました。このように、台風の強風により発電パネルが飛んで、住宅や車に被害を与えたり、豪雨により斜面に設置されたパネルががけとともに崩れる災害が多数発生しています。

木質バイオマス発電でも景観や環境悪化が

木質バイオマス発電施設でも、つくる場所により(右上につづく)↑

(仮称)利南運動広場3年以内に完成か

野球場・テニスコート実施設計進む

沼須町に建設予定の(仮称)利南運動広場の野球場は、センター122m、レフト・ライト100m、スタンド内野席1132席、内野クレイ塗装、外野天然芝、スコアボード磁気反転方式電光掲示板、屋外トイレなどの設備内容とテニス管理事務所《会議室・更衣室(シャワー付)》が併設されます。夜間照明設備はありません。



(仮称)利南運動広場基本設計図
左野球場・右テニスコート

テニスコートは8面、仕上げは砂入り人工芝、夜間照明設備、外周フェンスなどです。建設費は約20数億円かかるといわれています。市は約90%は合併特例債を活用しています。

再生エネルギーの健全な発展のためにも条例制定を

△景観や環境の悪化を招いています。前橋市の赤城山南面に建設された「木質バイオマス発電施設」は、有名な桜の名所が近くにあり、煙害や燃料に栃木県の福島原発事故の放射能を含んだ木材などが含まれるということで、近隣住民の方々が、反対運動をしています。

前橋市は近々、赤城山南面を対象とした「規制条例」を施行する予定です。高崎市や太田市では、すでに一定の地域限定ではありますが、「景観と調和し、住民の生活環境を守る」という趣旨の条例を制定しています。

本市では、中山間地に位置し、全市的ながけ地や斜面が多いことなどから、全市を対象とした独自の条例制定が必要です。

2016年10月9日 No.810

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料